

せたな町総合計画策定審議会

第2回生活環境専門部会

と き / 平成19年7月30日(月) 午後1時30分～
ところ / せたな町役場第3会議室

■ 次第

- 1 開会
- 2 開会あいさつ 生活環境専門部会部会長
- 3 協議事項 (1) 前回協議事項の確認
(2) 計画本体枠組みの確認
- 4 その他
- 5 閉会

せたな町総合計画策定審議会生活環境専門部会

■ せたな町総合計画策定審議会「生活環境専門部会」委員名簿

	氏 名	役 職	出 欠
部会長	佐久間 治 男	北檜山区合併特例区協議会長	(北檜山区)
副部会長	福 田 東洋司	大成区合併特例区協議会長	(大成区)
委 員	佐 藤 佑 二	せたな町建設協会長	(北檜山区)
委 員	石 川 文 枝	都市計画審議会委員	(北檜山区)
委 員	稲 船 弘	久遠郵便局長	(大成区)
委 員	濱 口 幸 登	元宮野郵便局長	(大成区)
委 員	熊 野 主 税	せたな町議会議員	(瀬棚区)
委 員	三 宮 武	瀬棚町内会連合会副会長	(瀬棚区)
委 員	武 山 正 悦	瀬棚区合併特例区協議会副会長	(瀬棚区)
委 員	菅 原 克 博	北海道檜山支庁地域政策課長	(檜山支庁)

■ せたな町

	氏 名	役 職	出 欠
策定委員長	道 高 勉	副町長	
策定副委員長	久 保 一	教育長	
策定副委員長	越 野 邦 夫	大成総合支所長	
策定副委員長	小 林 義 悦	瀬棚総合支所長	

■ 事務局

	氏 名	役 職	出 欠
	成 田 円 裕	政策調整課長	
	福 士 裕 継	政策調整課長補佐	
	吉 田 有 哉	政策調整課まちづくり推進係主任	
	白 戸 威 仁	政策調整課まちづくり推進係	

■ 協議事項(1) 前回協議事項の確認 (概要一覧)

● 建設水道関係

	検討項目	将来展望の主な内容(項目)	主な意見(確認事項)
1	土地利用	・ 計画的な土地利用 ・ 必要に応じた地籍調査の実施 ・ 土地情報処理システムの整備 ・ 宅地の整備充実	
2	都市計画	・ 魅力ある市街地環境づくり	
3	国道	・ 一般国道の整備促進 ・ 渡島半島横断道路の整備促進	
4	道道	・ 一般道道の整備促進	
5	町道	・ 町道の整備充実	
6	住宅	・ 快適な住環境づくり	● 大成区の住民意見に「民間アパートがない」とあるが、町営住宅の空きも多くあるのにどういう意味か～アンケート調査での自由意見なので真意はわからないが、町営住宅には入居の制限等があるため、入居しやすい民間アパートを望んでの意見と思う。
7	水道	・ 水源施設の整備充実 ・ 水道供給施設の充実 ・ 水道事業の運営	● 合併後、各区での人口の流れを把握されているか。総合計画にも記載するのか～現時点では合併後の各区間での人口の流れは把握していないが、総合計画の前段には人口に関する記述を予定している。 ● 合併により北檜山区への人口の移動が多くなると思われる。昨年のような渇水時の節水など水道水の供給は大丈夫か～今年も昨年同様厳しい状況になると思われるので、節水を呼びかけたい。 - 異常気象による例外の年もあるが、水道計画による水道人口は、将来の人口増も想定した人口設定をしているので、十分供給可能である。
8	下水道・排水処理	・ 公共下水道施設の整備促進 ・ 公共下水道事業の運営 ・ 農漁村地区の環境整備	
9	雪対策	・ 除排雪対策 ・ 消融雪施設の有効活用	
10	河川	・ 河川の整備促進	
11	海岸保全	・ 海岸保全事業の推進	
12	急傾斜地・治水・治山	・ 急傾斜地、地すべり対策 ・ 河川管理体制の充実 ・ 治山事業の推進	

● 地域生活関係

	検討項目	将来展望の主な内容(項目)	主な意見(確認事項)
1	通信・情報化	・地上デジタル放送への円滑な移行 ・携帯電話不通地区の解消 ・高度情報化への対応	● 地上デジタル放送への対応として共同受信施設の改修等の補助を考えているのか～基本的には各組合が対応することとなる。現時点ではどの程度の改修が必要か明確でないが、大規模な改修が伴う場合は組合と協議しながら対応することになる。 ● 「新たに発生する難視聴地域への対策」とあるが、そのような地域が発生するのか～発生した場合を想定して記載している。現状では把握していない。
2	消防・救急	・消防施設、消防車両の充実 ・火災予防の推進 ・救急体制の充実	
3	防災	・防災行政無線の機能充実 ・災害に強いまちづくりの推進 ・防災体制の充実	
4	交通安全	・交通安全施設の整備 ・交通安全推進体制の充実 ・交通安全活動の推進	
5	消費者対策	・消費者保護体制の充実 ・消費者活動の推進	
6	コミュニティ	・コミュニティ施設の充実 ・町内会活動の推進	
7	防犯	・防犯組織体制の充実 ・防犯活動の推進	
8	交通機関	・生活バス路線の運行維持 ・フェリーの安定就航 ・北海道新幹線の波及効果	● 高校通学定期補助の補助率が、檜山北高と瀬棚商業で違うのは何故か～国鉄廃止に伴い代替バスが運行された際、檜山北高への通学運賃が増額となることから、沿線関係町(当時の旧瀬棚町、旧北檜山町、今金町、長万部町)で構成する協議会において決定し現在に至っている。 瀬棚商業は、町立であることと、入学生徒への優遇措置の一環として補助率を高くしている。

● 環境衛生関係

	検討項目	将来展望の主な内容(項目)	主な意見(確認事項)
1	ごみ収集処理	・ごみ収集体制の充実 ・ごみ処理施設の整備充実 ・ごみの減量化、再利用の推進	● 町内で処理されていないアスベストはあるのか～公共施設については、すべて改修済みである。 副町長より最終処分地について説明～新たに整備するための費用は約 12 億円。今金町と負担するが、せたな町の負担は約 7 億円。財源として

			合併特例債を活用し、そのうち 70%が交付税措置され、残り約 2 億円が町の持ち出しとなる。
2	し尿収集処理	・し尿収集体制の充実 ・し尿処理施設の整備充実 ・合併処理浄化槽の普及促進	
3	火葬場・墓地	・施設の維持管理	
4	公園・緑地・緑化	・児童公園の充実 ・特色ある公園、緑地の整備 ・花いっぱい運動の推進 ・緑化事業の推進	●「花いっぱい運動」について、参加者の減少や高齢化に苦慮しているが、花壇ごと割り振りし責任を持たせたところスムーズにいった。対策の一つとして参考にしてほしい。
5	環境美化・環境対策	・環境美化施策の推進 ・環境保全意識の改革	●住民意見の「野良猫対策」について、町内会での対応は困難。住民同士のトラブルにも発展するので、実情を把握し行政の指導で迅速に処理してもらいたい～現状を把握し、臨機応変に対応し処理する。多くの苦情が寄せられているが、モラルの問題も大きいので、広報等で注意を呼びかけたい。その他、家庭ごみの違法焼却も見られるので、広報等で周知しながら強く指導していきたい。

■協議事項(2) 計画本体枠組みの確認

【全体構成案】

編		章			
1	総論	1	計画の考え方	1	計画策定の趣旨
				2	計画策定の視点
				3	計画の構成と期間
				4	計画の進行管理
		2	計画策定の背景	1	せたな町の現況と特性
				2	まちづくりの課題
2	基本構想	1	まちづくりの基本理念		
		2	将来像		
		3	人口の想定		
		4	6つの基本目標		
		5	せたな町総合計画の体系		
3	基本計画 (前期)	■基本目標1「健やかに暮らせる福祉のまち」			
				1	保健・医療の充実
				2	地域福祉の推進
				3	子育て支援の推進
				4	高齢者施策の推進
				5	障害者施策の推進
				6	社会保障の充実
		■基本目標2「活力に満ちた産業のまち」			
				1	農林業の推進
				2	水産業の推進
				3	商工業の推進
				4	観光の振興
				5	雇用・勤労者対策の推進
		■基本目標3「自然と共生する安全なまち」			
				1	環境・景観の保全と創造
				2	公園・緑地・水辺の整備
				3	上下水道の整備
				4	環境衛生対策の推進
				5	消防・防災体制の充実
				6	交通安全・防犯対策の推進
				7	地域エネルギーの活用
		■基本目標4「多様な交流を生むにぎわいのある快適なまち」			
				1	調和のとれた土地利用の推進

		2	市街地の整備
		3	住宅対策の推進
		4	道路網の整備
		5	公共交通機関の充実
		6	港湾・漁港の整備
		7	情報ネットワークの充実
		■ 基本目標 5 「豊かな人間性と文化を育むまち」	
		1	生涯学習の推進
		2	学校教育の充実
		3	青少年の健全育成
		4	芸術・文化の振興
		5	スポーツの振興
		6	国際交流の充実と地域間交流の推進
		■ 基本目標 6 「みんなでつくるまち」	
		1	新時代のコミュニティ形成
		2	人権尊重のまちづくりの推進
		3	男女共同参画社会の形成
		4	協働のまちづくりの推進
		5	自立した自治体経営の確立
4	実施計画	3 年間の各分野ごとの主な事業を掲載	

6つの基本目標は、合併時に作成しました「新町建設計画」の基本施策と同様で考えております。